



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 KPPグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9274 URL <https://www.kpp-gr.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 坂田 保之  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ財務企画本部長 (氏名) 足立 章之郎 (TEL) 03-3542-9925  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	482,323	△3.7	6,145	△29.8	3,513	△40.9	3,545	△28.4
2025年3月期第3四半期	500,823	3.7	8,754	△11.0	5,947	△22.8	4,951	△14.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,667百万円(△20.7%) 2025年3月期第3四半期 4,626百万円(△60.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	54.76	—
2025年3月期第3四半期	72.60	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	382,951	85,146	22.2
2025年3月期	352,035	86,216	24.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 85,125百万円 2025年3月期 86,122百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2026年3月期	—	18.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年3月期中間配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当5円00銭

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	△4.5	10,000	△26.2	5,500	△43.4	5,000	△37.4	77.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規	10社 (社名)	Fortuna Digital Holding、 Fortuna Digital Austria、 Fortuna Digital BIH、 Fortuna Digital Croatia、 Fortuna Digital Hungary、 Fortuna Digital Serbia、 Fortuna Digital Slovenia、 Club Groupe S.A.S、 Digital Printing France S.A.S、 Technical Digital Printing S.A.S	除外	4社 (社名)	ANTALIS GROUP (PRIVATE UNLIMITED COMPANY)、 ANTALIS OVERSEAS HOLDINGS LIMITED、 ANTALIS HOLDINGS LIMITED、 ANTALIS GROUP (HOLDINGS) LIMITED
----	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	67,244,284株	2025年3月期	67,244,284株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,090,751株	2025年3月期	1,281,174株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	64,749,676株	2025年3月期3Q	68,200,393株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

#### ① 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間においては、グラフィック用紙の需要が弱含みに推移したことに加えて、製紙原料関連商品での市況下落により、売上高は4,823億23百万円（前年同期比3.7%減）と減収となりました。

利益に関しましては、ペーパー事業の低迷に加え英国等においてリストラを実施したことによる一過性の費用計上もあり、営業利益は61億45百万円（前年同期比29.8%減）、経常利益は35億13百万円（前年同期比40.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、35億45百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

#### ② 当期のセグメント別概況

事業別の業績につきましては、次のとおりであります。

##### <北東アジア>

国内の紙分野においては、グラフィック用紙の需要減少により販売数量が前年を下回り、売上高・利益ともに前年を下回りました。

板紙分野では、段ボール原紙の需要が堅調に推移し、輸出も増加したことから販売数量が前年を上回り、売上高・利益ともに前年を上回りました。紙器用板紙については、インバウンド需要もあり、数量、売上高ともに前年を上回りましたが、販売品種の構成により利益は前年を下回りました。

製紙原料分野では、古紙の販売数量は前年を維持したものの、市況の低迷により売上高・利益ともに前年を下回りました。市販パルプは、市況下落の影響により売上高・利益ともに前年を下回りました。

中国では、販売数量は前年実績を上回ったものの、市況軟化によって売上高と営業利益は前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,162億75百万円（前年同期比6.0%減）となり、営業利益は14億69百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

##### <欧州／米州>

ペーパー事業では、需要が低迷したこと、供給過多を背景として価格が下落を続けたことから売上高・利益ともに前年を下回りました。

パッケージング事業は、前期買収した各社の貢献はありましたが、ドイツ、イタリアにおける需要の低迷や価格の下落もあり、売上・利益は前年同期並みとなりました。

ビジュアルコミュニケーション事業は、ハードウェアの販売が好調だったことに加え、今期買収したClub Groupe社やFortuna Digital社の業績貢献もあり、売上高・利益ともに前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,180億98百万円（前年同期比1.5%減）となり、営業利益は31億4百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

##### <アジアパシフィック>

ペーパー事業は、商業印刷及び板紙の需要が伸び悩み、売上高・利益ともに前年を下回りました。

パッケージング事業は、前期買収した各社の業績貢献に加えて、今期事業譲受したABL社の業績寄与もあり、売上高・利益ともに前年を大幅に上回りました。

ビジュアルコミュニケーション事業は、主に豪州においてメディアの販売が堅調に推移し、売上高・利益ともに前年を上回りました。

トレーディング事業はインドおよび東南アジアの需要低迷が継続し、売上高・利益ともに前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は468億14百万円（前年同期比3.2%減）となり、営業利益は17億94百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

##### <不動産賃貸>

稼働率は引き続き安定したものの、賃料改定の寄与が限定的であったため、賃料収入は前年同期比で横ばいと

なりました。

利益面では、費用の抑制が進んだことにより、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億34百万円（前年同期比0.6%増）となり、営業利益は4億71百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

## （2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、売上債権、電子記録債権、棚卸資産等が増加し、前連結会計年度末に比べ309億16百万円増加し、3,829億51百万円となりました。

負債額は、仕入債務、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べ319億86百万円増加し、2,978億5百万円となりました。

純資産額は、自己株式の取得、為替換算調整勘定等により、前連結会計年度末に比べ10億70百万円減少し、851億46百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は22.2%となり、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減少しております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月14日公表の予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,319	14,787
受取手形及び売掛金	115,163	120,232
電子記録債権	21,906	31,163
商品及び製品	72,493	74,615
その他	16,426	16,486
貸倒引当金	△5,997	△5,741
流動資産合計	231,312	251,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,793	7,582
土地	8,999	9,805
その他（純額）	35,859	40,440
有形固定資産合計	52,651	57,828
無形固定資産		
のれん	11,374	13,073
顧客関連資産	5,750	6,274
その他	12,745	13,692
無形固定資産合計	29,870	33,040
投資その他の資産		
投資有価証券	19,603	20,239
退職給付に係る資産	11,310	12,417
その他	15,831	15,831
貸倒引当金	△8,544	△7,949
投資その他の資産合計	38,201	40,539
固定資産合計	120,723	131,408
資産合計	352,035	382,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,881	103,797
電子記録債務	3,518	4,242
短期借入金	40,086	58,866
コマーシャル・ペーパー	14,000	12,000
未払法人税等	1,859	1,864
賞与引当金	3,457	2,912
引当金	1,402	930
その他	37,923	40,393
流動負債合計	194,130	225,007
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	12,701	7,763
退職給付に係る負債	2,117	2,163
引当金	1,278	1,537
その他	35,591	41,332
固定負債合計	71,688	72,797
負債合計	265,818	297,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	3,221	3,148
利益剰余金	67,733	68,881
自己株式	△650	△2,835
株主資本合計	75,028	73,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,951	6,809
繰延ヘッジ損益	9	△35
為替換算調整勘定	10,139	9,899
退職給付に係る調整累計額	△5,007	△5,467
その他の包括利益累計額合計	11,093	11,206
非支配株主持分	94	20
純資産合計	86,216	85,146
負債純資産合計	352,035	382,951

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	500,823	482,323
売上原価	405,475	387,921
売上総利益	95,348	94,402
販売費及び一般管理費	86,593	88,256
営業利益	8,754	6,145
営業外収益		
受取利息	221	222
受取配当金	448	484
持分法による投資利益	100	62
貸倒引当金戻入額	327	183
その他	240	287
営業外収益合計	1,337	1,240
営業外費用		
支払利息	1,932	2,270
売上債権売却損	1,257	703
為替差損	216	213
その他	737	685
営業外費用合計	4,144	3,873
経常利益	5,947	3,513
特別利益		
固定資産売却益	185	29
投資有価証券売却益	1,391	1,131
負ののれん発生益	—	113
受取和解金	—	800
その他	0	10
特別利益合計	1,578	2,084
特別損失		
固定資産除却損	43	0
固定資産売却損	7	4
その他	0	8
特別損失合計	51	13
税金等調整前四半期純利益	7,474	5,584
法人税等	2,517	2,030
四半期純利益	4,956	3,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,951	3,545



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,956	3,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,430	858
繰延ヘッジ損益	△25	△44
為替換算調整勘定	882	△205
退職給付に係る調整額	219	△460
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△35
その他の包括利益合計	△329	113
四半期包括利益	4,626	3,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,621	3,659
非支配株主に係る四半期包括利益	5	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,168,400株の取得を行っております。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,184百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,835百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

Antalis S.A.S.がFortuna Digital Holding (旧Fortuna Komers d.o.o)の全株式を取得したため、第2四半期連結会計期間よりFortuna Digital Holding及びその子会社であるFortuna Digital Austria、Fortuna Digital BIH、Fortuna Digital Croatia、Fortuna Digital Hungary、Fortuna Digital Serbia、Fortuna Digital Sloveniaを連結の範囲に含めております。Antalis S.A.S.の事業会社であるAntalis FranceがClub Groupe S.A.S及びDigital Printing France S.A.Sの全株式を取得したため、第3四半期連結会計期間よりClub Groupe S.A.S及びDigital Printing France S.A.S、Club Groupe S.A.Sの子会社であるTechnical Digital Printing S.A.Sを連結の範囲に含めております。グループ内組織再編のための清算終了に伴い、当第3四半期連結会計期間よりANTALIS GROUP(PRIVATE UNLIMITED COMPANY)、ANTALIS OVERSEAS HOLDINGS LIMITED、ANTALIS HOLDINGS LIMITED、ANTALIS GROUP (HOLDINGS) LIMITEDを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	北東アジア	欧州/米州	アジア パシフィック	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	229,980	221,340	48,374	1,127	500,823	—	500,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,793	18	78	353	2,245	△2,245	—
計	231,774	221,358	48,453	1,481	503,068	△2,245	500,823
セグメント利益	2,094	4,712	2,088	454	9,349	△594	8,754

(注) 1. セグメント利益の調整額△594百万円は、セグメント間取引消去583百万円及び全社費用△1,178百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	北東アジア	欧州/米州	アジア パシフィック	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	216,275	218,098	46,814	1,134	482,323	—	482,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,521	17	66	354	1,959	△1,959	—
計	217,796	218,116	46,881	1,489	484,283	△1,959	482,323
セグメント利益	1,469	3,104	1,794	471	6,839	△694	6,145

(注) 1. セグメント利益の調整額△694百万円は、セグメント間取引消去404百万円及び全社費用△1,098百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,229百万円	9,162百万円
のれんの償却額	1,143	1,097